



津波避難にも対応 松並木を活かす庁舎づくり

佐伯税務署（R3）建築その他工事

九州地方整備局
熊本宮繕事務所
西田 唯奈（令和2年度入省）



庁舎北西側

建物概要

本事業は建物の経年による老朽化が著しく支障をきたしていることなどから別地に税務署庁舎を新しく建て替えるものです。佐伯市役所の徒歩圏内へ移転することで市民の利便性向上に貢献しています。新たな庁舎は津波浸水想定地区であり、津波避難ビルとして計画しています。

本建物の外観は周辺の歴史ある城下町や松並木などと調和し圧迫感をあたえないデザインとしています。庇やルーバーによる日射遮蔽や太陽光パネルの設置などの環境負荷低減や内装に積極的に木材利用を行い地球環境にやさしい施設を目指しています。

建築概要（庁舎）

構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上3階建
敷地面積：1,532.29㎡
建築面積：541.17㎡
延床面積：1,179.68㎡



玄関ホール



津波避難ビル ピクトグラム

仕事のやりがい

本工事の監督職員としての業務を今年から行っています。入省1～2年目の時は設計業務で工事にかかわっていましたが現場へ行く機会があまりありませんでした。3年目になり初めて監督職員となってからは定期的に工事現場に行き徐々に建物が完成していく様子を見ることができるようになり、設計の時よりも建物をつくることに携わっている実感があります。

また、建物の保全に関する業務も行っています。さまざまな施設の方の施設の維持管理や不具合に関する相談に対して臨機応変に対応しなければなりません。そのぶん知識を身に付けることができ、解決したら直接感謝してもらえるのでやりがいがあります。



休日の過ごし方

普段の運動不足解消のため休みの日はできるだけ外に出るように心がけています。コーヒーが飲めるようになったので休日はカフェ巡りに行っています。

